

青森産技

https://www.aomori-itc.or.jp/soshiki/suisan_sougou/output/uodas/uodas.html

日	月	火	水	木	金	土
					①	2
3	4	5	6	7	8	9
10	⑪	12	13	14	15	16
17	18	19	20	⑳	22	23
24	25	26	27	28	29	30
30	○	発行日				

次回発行は7月11日(月)予定です。

			(6月26～30日)
スルメイカ	定置網	5隻	35.0kg
(26,203.0kg)	底曳網	33隻	26,168.0kg
ブリ	定置網	5隻	63.0kg
マダラシ	底曳網	34隻	21,931.0kg
マイワシ	定置網	5隻	66.0kg
サバ類	定置網	5隻	4,089.0kg

1/3

沿岸各地の水温 (6月21日～25日)

日本海 17℃～19℃台 津軽海峡 14℃～17℃台
陸奥湾 16℃～18℃台 太平洋 13℃～17℃台

6月第5半旬は平均前回差が+1.2度となりました。

前年と比べると、日本海が-0.5度、津軽海峡が+0.6度、陸奥湾が+0.4度、太平洋が-0.1度で、平均前年差は+0.1度となっています。

平年と比べると、日本海は「平年並み」、津軽海峡と陸奥湾と太平洋で「やや高め」となっています。

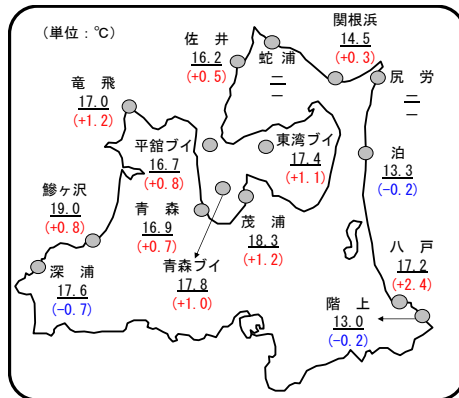


図 定地水温 (6月21日～25日)
平均値 (平年差) ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (6月21～25日)

		(単位: °C)			
日本海	深浦	17.6	+0.6	-0.8	-0.7
	鱒ヶ沢	19.0	+2.5	-0.3	+0.8
	平均	18.3	+1.6	-0.5	+0.1
津軽海峡	竜飛	17.0	+2.5	+0.5	+1.2
	佐井	16.2	+1.2	+0.7	+0.5
	蛇浦	—	—	—	—
陸奥湾	関根浜	14.5	+1.4	—	+0.3
	平均	15.9	+1.7	+0.6	+0.7
太平洋	青森	16.9	+1.9	-0.1	+0.7
	茂浦	18.3	+0.9	+0.9	+1.2
	平館	16.7	+1.4	+0.3	+0.8
太平洋	青森	17.8	+1.3	+0.3	+1.0
	東湾	17.4	+0.9	+0.3	+1.1
	平均	17.4	+1.3	+0.4	+1.0
太平洋	尻子	—	—	—	—
	泊	13.3	+0.5	-1.1	-0.2
	戸	17.2	+0.3	+1.3	+2.4
太平洋	階上	13.0	+0.1	-0.6	-0.2
	平均	14.5	+0.3	-0.1	+0.7
全体平均		16.5	+1.2	+0.1	+0.6

※深浦は21日のみの値

沿岸各地の水温 (6月26日～30日)

日本海 19℃台 津軽海峡 16℃～17℃台
陸奥湾 17℃～19℃台 太平洋 14℃～19℃台

6月第6半旬は平均前回差が+1.2度となりました。

前年と比べると、日本海が-0.2度、津軽海峡が+0.4度、陸奥湾が-0.0度、太平洋が+0.9度で、平均前年差は+0.3度となっています。

平年と比べると、日本海と津軽海峡と陸奥湾で「やや高め」、太平洋で「はなはだ高め」となっています。

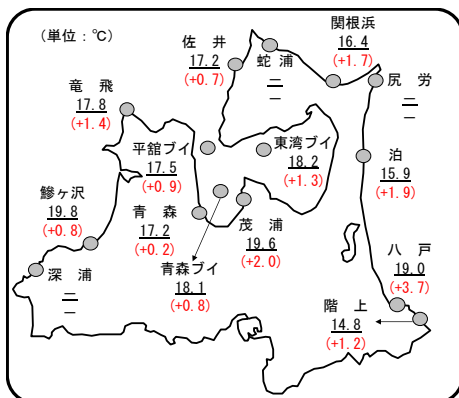


図 定地水温 (6月26日～30日)
平均値 (平年差) ブイは1m

表 沿岸各地の水温 (6月26～30日)

		(単位: °C)			
日本海	深浦	—	—	—	—
	鱒ヶ沢	19.8	+0.8	-0.2	+0.8
	平均	19.8	+0.8	-0.2	+0.8
津軽海峡	竜飛	17.8	+0.8	+0.6	+1.4
	佐井	17.2	+1.0	+0.2	+0.7
	蛇浦	—	—	—	—
陸奥湾	関根浜	16.4	+1.9	—	+1.7
	平均	17.1	+1.2	+0.4	+1.3
太平洋	青森	17.2	+0.3	-1.1	+0.2
	茂浦	19.6	+1.2	+1.5	+2.0
	平館	17.5	+0.8	+0.0	+0.9
太平洋	青森	18.1	+0.3	-0.2	+0.8
	東湾	18.2	+0.8	-0.4	+1.3
	平均	18.1	+0.7	-0.0	+1.0
太平洋	尻子	—	—	—	—
	泊	15.9	+2.6	-0.2	+1.9
	戸	19.0	+1.8	+2.6	+3.7
太平洋	階上	14.8	+1.8	+0.3	+1.2
	平均	16.6	+2.1	+0.9	+2.3
全体平均		17.9	+1.2	+0.3	+1.3

太平洋の海況

(6月29日～30日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は16℃台

○太平洋沿岸域の表面水温

前回と比べて2～3度ほど昇温しました。これは前年同期と比べてわずかに低い水温です。

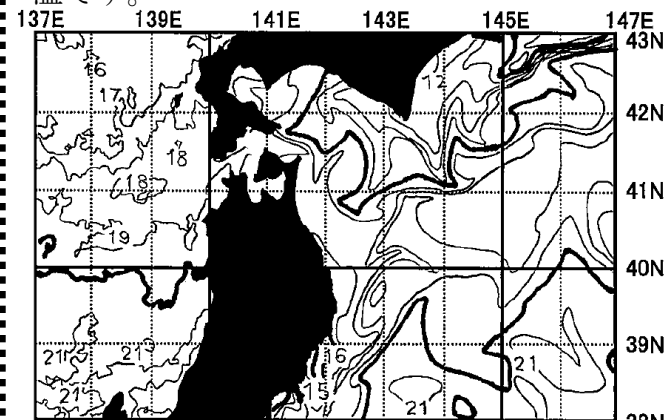
日本海の海況

(6月29日～30日、表面水温分布)

概況: 沿岸水温は19℃台

○日本海沿岸域の表面水温

前回と比べて2～3度ほど昇温しました。これは前年同期と比べて1～2度ほど低い水温です。



資料: (一社) 漁業情報サービスセンター
北部太平洋海況速報 (A) 第27号

○令和4年度陸奥湾マダラ稚魚分布調査結果について

2022年5月17日～19日、6月2日～4日の2回、陸奥湾の8調査点で試験船青鵬丸（65トン）のオッタートロール海底曳によるマダラ稚魚の分布調査を行いました。2回中、密度の高かった5月17日～19日の結果を示します。

マダラ稚魚の分布密度が最も高かった地点はSt.1で97尾/1,000m²でした。この他、前年に続いて全調査地点で分布が確認され、これまで5月の採捕が少ないSt.3においてもまとまった分布が確認されました（図1）。2022年5月の平均分布密度及び分布密度の最高値は6年間で4番目に高い値となっており、近年の中では中間的な豊度であった可能性があります（図2）。

2021年漁期（4月～翌年3月）の陸奥湾（竜飛～奥戸）のマダラ漁獲量は、1981年漁期以降で最多となる1,983トンでした。2016年漁期以降、1,000トンを超える漁獲が継続していますが、その間、稚魚豊度は大きく変動しています。来年以降も調査を継続し、稚魚密度と資源量との関係を明らかにし、漁況予測出来るよう取り組んでいきます。

（資源管理部 松谷紀明）

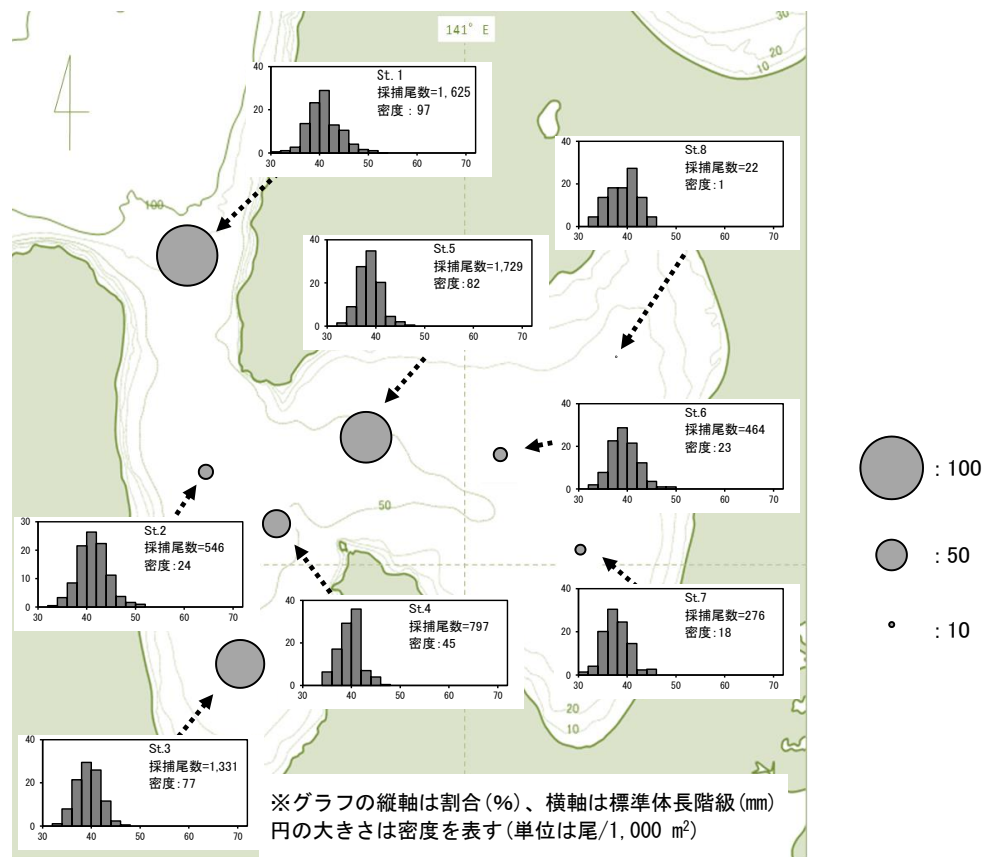


図1 陸奥湾マダラ稚魚分布密度と体長組成結果（2022年5月）
（試験船青鵬丸によるオッタートロール）

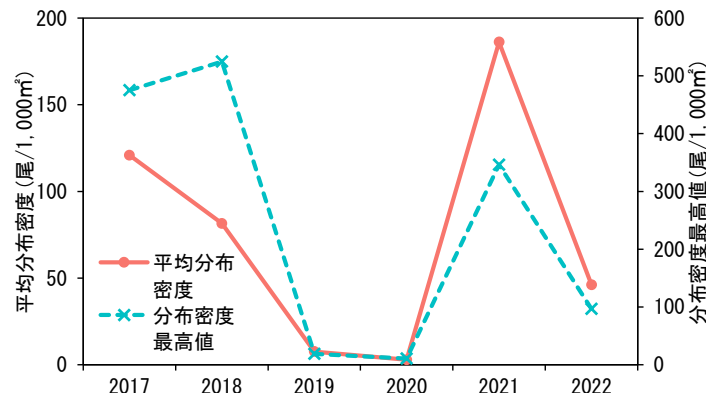


図2 5月の陸奥湾マダラ稚魚分布密度の経年変化（2017年-2022年）

○未来へつなぐ資源管理2022が公開されました

青森県水産振興課と当研究所は未来につなぐ資源管理2022を公開しました。

<https://www.aomori->

[itc.or.jp/_files/00180023/mirainitunagusigenkanri2022.pdf](https://www.aomori-itc.or.jp/_files/00180023/mirainitunagusigenkanri2022.pdf)

